

度再検証へ

住民意見広く聴取

併時に「当面10年の間」として導入した自治区後に検証を行ったが、合併から8年目を迎え、

「基金の活用や地域協会の活動が、地域活性化の役割を果たして

「再検証は15年に合併から10年が経過するた

「再検証は15年に合併から10年が経過するた

極誘致

定管理者に

期待している。

施設は現在、町開発公社が指定管理。町は同公園の入り込み客が減少する中、同公園近くで優れた町産食材を使った「A級グルメ」レストランを運営して

資料にする。12年10月に職員16人でつくる「自治区プロジェクトチーム」を設置し検証方法などを詰めてきた。

4月から前同様に各地域協議会や各種団体から意見を聞くほか、新たに住民アンケートも実施。▽自治区長制度▽地域振興基金▽自治区事業など5項目について意見を聴取し、9月ごろに結果をまとめる。

再検証は15年に合併から10年が経過するた

いる観光協会に任せる方針を決めた。

構想では、総務省の地域おこし協力隊制度の活用を見据え、ウエディングプランナー1人を2013年度に採用する計画。現在は年間5組程度の同公園での結婚式開催を促進し、入り込み客数増につなげるのが狙いだ。

91年に開設。20003月4日開会の定例町

ふるさと通信

このコーナーは読者リポーターが取材執筆しています。

浜田

浜田市三隅町が集まりました。写真。野田さんは「少しずつでも大きく行政や学校の協力も得てオー

地元有志からなる同志会（村木勝利会長、14人）の協力のもと、現在までにペール缶4・5缶分（約450リットル）



野田さんは同学校などへの寄付を考えており、「同じような子どもたちのためにも、少しでも多くのプルタブを集め恩返ししたい。回収缶を置いてくださる方を探しています」と話しています。

プルタブ集め車いす寄贈

（川神由理）

「地域振興基金」の活用を見据え、ウエディングプランナー1人を2013年度に採用する計画。

指定管理期間は13年4月から5年間。町は3月4日開会の定例町

「暮らし推進課」の新設条例案を可決

津和野町は25日の町

「健康福祉課」を設置

「健康福祉課」を設置する。

同郷同士の

卒業生ら70人ふるさと談議



同高の古藤政人校長は母校の地域活動や就職状況を報告した。土井正人江工会本部長も駆けつけた。

「健康福祉課」を設置する。

「暮らし推進課」の新設を柱とする機構改革（4月1日付）の関連条例改正案を提出し、全会一致で可決された。